

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.61

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 *****



2面
隠れ家つながり隊
村田 洋子さん




3面
武蔵大学ボランティアサークル A't
成澤 佑介さん



つながるカレッジ ねりま

オンライン公開講座の 聴講生を募集します

つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。
カリキュラムの中から、右記の講座をZoomにより公開します。



「社会保障論(社会保険制度)」

【日時】 6月21日(火) 9時30分~12時50分

【内容】 病気や失業などのリスクに対して、貧困状態になることを防ぐ役割を担っている「社会保険」の概要について学びます。

【講師】 今井 伸
十文字学園女子大学 人間生活学部教授

【定員】 30名(先着順)

【申込み】 ①講座名 ②氏名 ③電話 ④住所 ⑤メールアドレスを、6月15日までにポータルサイト(<https://www.collegenerima.jp>)・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ



【問い合わせ】 つながるカレッジねりま事務局 協働推進課カレッジ担当係
TEL: 03-5984-1613 E-mail: KYODOSUIISHIN04@city.nerima.tokyo.jp

マップを片手に大泉の魅力を探しに行こう!

隠れ家つながり隊



代表の村田 洋子さん

30～40代の子育て世代や働く女性に、大泉の隠れた魅力的なスポットを探しながら巡り、街を知ってもらいたい。そんなコンセプトを掲げて大泉エリアのマップを作り、マルシェを開催しているのが、隠れ家つながり隊(旧:大泉隠れ家つながり隊)です。

きっかけは、代表の村田さんが自分で作った「大泉隠れ家巡りMAP」でした。もともと街歩きが好きで、大泉の住宅街に点在するお店を巡っていた村田さん。



高架下で開催した「大泉隠れ家マルシェ」(2019年)。飲食や物販、フリマなど約20店が並びました

「自分の好きな店だけ載せたら面白そう」と思い立ち、初版のマップを2016年11月に発行しました。それを機に、活動の幅を広げる

ため団体を設立。現在は子育てママやマップ掲載店のオーナーなど、19名の有志メンバーで運営しています。15軒からスタートした掲載店舗数は、最新の第5版では33軒まで増え、発行部数も14,000部となりました。

お店の宣伝ではなく、「地域のお店を盛り上げつつ街巡りをして大泉を好きになってもらうこと」という明確な目的で作られたマップは、オシャレで手作り感あふれる温かなデザイン。大泉エリアの飲食店・雑貨店・サロンなどの掲載店のほか、石神井図書館や練馬図書館でも入手できます。

「掲載店には印刷費などの実費を均等に負担してもらっています。利益を追求しないからこそ、店のセレクトには街への想いを反映で



異世代交流会や勉強会なども開催

きるんです」と村田さん。掲載エリアの“最寄り駅が大泉学園駅”または“地名が大泉がつくところ”

には、駅周辺だけではなく、住宅街にも魅力的なスポットが点在。対象の女性たちが地元への愛着を深められるような店舗を厳選していると言います。

また、2017年から毎年10月に「大泉隠れ家マルシェ」を開催してきましたが、コロナ禍での2年間は実施を断念。そんな中でも、掲載店同士で独自にミニマルシェを開催するなど、1枚の地図が地域の新たなつながりを生み、着々と実を結んでいます。

「落ち着いたら、またマルシェや街歩きイベント、フォトマツラリー(チェックポイントで写真撮影をしながらゴールを目指すゲーム)なども再開したいですね」と、村田さんの夢は尽きません。コロナ禍の今こそ、マップを片手に地域の魅力を探しに出かけてみませんか?

■大泉隠れ家つながり隊

代表：村田 洋子

メール：o.tsunagari@gmail.com

ホームページ：

[https://oizumi-kakurega.](https://oizumi-kakurega.amebaownd.com/)

[amebaownd.com/](https://oizumi-kakurega.amebaownd.com/)



地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■社会福祉法人木下財団「障がい者福祉への助成」

【助成対象】 原則として障がい者支援を行う非営利の民間団体であり、グループホーム、地域活動支援センター、就労継続支援A/B型などの社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)、またはそれに準じた事業を行う、規模の小さな団体やNPO法人等の団体

【助成金額】 1件あたりの上限額：25万円

【応募期限】 2022年6月6日

【関連URL】 <http://www.kinoshita-zaidan.or.jp/subsidy/>

【問い合わせ】 社会福祉法人木下財団 事務局

〒104-0042 中央区入船3-2-7 第二明治ビル6F

TEL：03-6222-8927

E-mail：info@kinoshita-zaidan.or.jp

■公益財団法人マツダ財団研究助成「青少年健全育成関係」

【助成対象】 「青少年の健全育成」に係る教育現場及び市民活動の活性化に役立つ汎用性の高い研究を助成対象とします。①ボランティア育成、②若者の居場所づくり、③地域連帯・コミュニティづくり、④自然とのふれあい、⑤国際交流・協力、⑥科学体験・ものづくり

【助成金額】 1件あたりの上限額：100万円

【応募期限】 2022年6月15日

【関連URL】 [https://mzaidan.mazda.co.jp/bosyu/](https://mzaidan.mazda.co.jp/bosyu/human_serach/index.html)

[human_serach/index.html](https://mzaidan.mazda.co.jp/bosyu/human_serach/index.html)

【問い合わせ】 公益財団法人マツダ財団 事務局

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1 マツダ株式会社内

TEL：082-565-1344(井上) E-mail：mzaidan.sk@mazda.co.jp

大学生が地元のボランティア活動で地域交流

武蔵大学 ボランティアサークル A't



代表の成澤 佑介さん

江古田にある武蔵大学のボランティアサークル「A't(アット)」は、2013年4月に設立。「Aid together(一緒に援助する)」の頭文字から取った名称で、海外での住居建築ボランティアや東北の被災地支援、ゴミ拾いなど、国内外で幅広くボランティア活動に取り組んでいます。

コロナ禍の今は、区内の小学生を中心に構成される「ねりまキッズボランティア」の活動をサポートしたり、一緒に遊んだりするなど、練馬区内での活動が主



小学生を中心とする「ねりまキッズボランティア」の子どもたちと。いつも子どもたちからたくさん元気もらっています！

軸となっています。

2022年4月時点でメンバーは65名。「誰かのために何かやりたいという志を持った人が集まるA'tは、穏やかで居心地の良いサーク

ル」と話すのは、代表の成澤さんです。現在3年生の成澤さんが入学したのは、コロナ禍が始まった春。入学後の大学生活はほぼリモートでした。

「そんな状況でも先輩たちは、オンラインで1~2週間に1回、活動をずっと続けてきました。先輩から渡されたバトンの後輩につなげていきたいという思いが、今の原動力になっています」

2021年11月、対面での活動が徐々に再開。初めての対面で手探りながらも、7年前から共に活動している「ねりまキッズボランティア」の子どもたちと一緒に、はつらつセンター豊玉でクリスマスや正月の飾りつけをしたり、フリーマーケットや防

災イベントのサポートをしたり。対面での活動の楽しさを改めて実感したと言います。

2022年3月には牛乳廃棄の問題をきっかけに、大泉学園にある小泉牧場と連携し、バター作り体験をリモート開催。活動再開後、A'tが企画した

初イベントとなりました。主催して初めて準備や運営の苦勞を味わい、参加者の感想が今後の企画の参考になることを学ぶなど、貴重な経験ができたと言います。成澤さんは振り返ります。

「地域の小学生や事業者の方など、立場の異なる人たちとの交流はとても勉強になります。活動を通じてメンバー同士の結束力を高めながら、これからもいろいろな方とのつながりを大切にしていきたいと思います」

地域にとっても地元の大学生はエネルギーあふれる貴重な存在。今後のA'tの活動に期待が高まります！



初企画のオンラインイベント「ふりぶりバター体験」の様子

■ 武蔵大学 ボランティアサークル A't(アット)

代表：成澤 佑介

メール：atmusashi2013@gmail.com

インスタグラム：@atmusashi.2013

■ 社会福祉法人 丸紅基金「社会福祉助成金」

【助成対象】 社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体が企画する事業案件で、次の条件を具備するもの(1)原則として非営利の法人(2)明確な目的を持ち、実施主体、内容、期間が明らかであること(3)助成決定から1年以内に実施が完了する予定のものであること(4)家賃・光熱費・人件費等、一般的な経費不足の補填でないこと(5)申込案件に、国や地方公共団体の公的補助がないこと、また他の民間機関からの助成と重複しないこと

【助成金額】 1件あたりの上限額：200万円

【応募期限】 2022年6月30日

【関連URL】 <https://www.marubeni.or.jp/>

【問い合わせ】 <https://www.marubeni.or.jp/contact/>

社会福祉法人 丸紅基金

〒100-8088 千代田区大手町1-4-2 丸紅ビル内

TEL：03-3282-7591/7592 E-mail：mkikin@marubeni.com

■ 公益財団法人 太陽生命厚生財団「社会福祉助成」

【助成対象】

I. 事業助成 特定非営利活動法人(NPO)等が在宅高齢者または在宅障がい者等のための福祉活動や文化活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備する事業・費用

II. 調査研究助成 社会福祉法人または民間機関等が実施する高齢者保健・医療、生活習慣病に関する研究または高齢者福祉に関する調査または研究に必要な費用

【助成金額】 事業助成：1件あたり10万円~50万円

調査研究助成：1件あたり30万円~50万円

【応募期限】 2022年6月30日

【関連URL】 <http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/>

【問い合わせ】 公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局

〒143-0016 東京都大田区大森北1-17-4 太陽生命大森ビル

TEL：03-6674-1217

練馬区空き家活用相談窓口



あなたの空き家を、活かしませんか？

空き家を地域のために貸していただける方を募集しています。空き家を貸したい方と借りたい方の両者の引き合わせ、空き家の改修等費用の助成、アドバイザー派遣などを行っています。

※ 空き家の所有者になり、「空き家活用のイメージがわからない」「自分の空き家はどう活用できるのかわからない」などと悩んでいる方も、まずはお気軽にご相談ください。ご連絡お待ちしております。

【問い合わせ】みどりのまちづくりセンター(空き家活用相談窓口担当)

TEL: 03-3993-5451 受付時間 9時~17時

※土日祝、年末年始(12月29日~1月3日)を除く

メール: m-machi@nerimachi.jp

ホームページ: <https://nerimachi.jp/operation/akiya.php>



【活用事例】植物やガーデニングを生かした居場所づくり (NPO 法人自然工房めばえ)



【活用事例】食や音楽を通じて多世代が集う場の提供 (NPO 法人ハッピーひろば)

令和4年度 (区からの委託事業)

生活習慣病に関する講座等を企画・実施する団体を募集

地域において、自主・自立的に生活習慣病予防に取り組む環境づくりを目指すため、生活習慣病の予防や生活習慣の改善を目的とした講座等を企画・実施する団体を募集します。

【対象(受託できる団体の基準)】

形態(法人・NPO・任意団体など)に指定はありませんが、健康づくりに関心を持つ団体であって、以下の要件を全て満たすことが必要です。

- ・団体構成員の半数以上が練馬区在住または在勤者であること。
- ・練馬区内に活動拠点があること。
- ・政治活動、宗教活動、営利活動を目的とした団体、公序良俗に反する団体でないこと。

【委託内容】

- 講座内容 高血圧や糖尿病予防のための食事教室やウォーキング運動講座など。
- 実施期間 令和4年5月~令和5年2月の間で講座等を実施してください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、換気・消毒・マスクの着用などの対策を講じたうえで実施してください。

● 委託料 25,000円

※実際の経費で25,000円を超過した分は各団体の負担となります。

【審査・選考】

申込順に、「実施計画書」の内容に基づいて審査および選考を行います。審査および選考の結果は文書により通知します。今年度の委託予定数は6団体です。

【応募】

令和4年12月28日(水)まで(委託予定数に達し次第、終了)。講座等を実施する1か月前までに「実施計画書」を下記の提出先まで直接ご持参ください。

【提出先】 国保年金課 保健事業担当係 (区役所本庁舎3階)

TEL: 03-5984-4551

事業の概要はこちら➡<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/nenkinhoken/kokuminkenhohoken/hokenkenkoshinsa/tiikidantai.html>



練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。



<https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索



ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター 検索



練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時(12/29~1/3は休業)

事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL: 03-3577-5666